

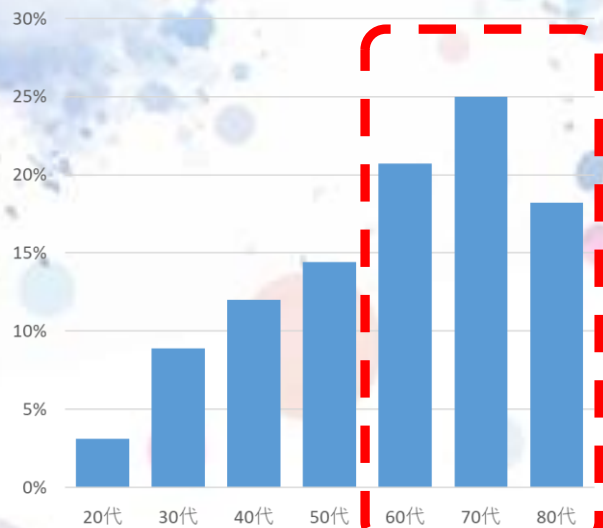
**目的：** 少子高齢化を背景とした社会問題に焦点をあて、多様な世代が参加できるまちをどう作るか学び、企画を考え、実践します。それにより学生の課題解決力の向上を目指します。

**取組：** 子どもや高齢者の居場所づくり、フレイル予防講座、民間企業とコラボした親子で楽しめる地域イベントの企画を立案し、実施しています。

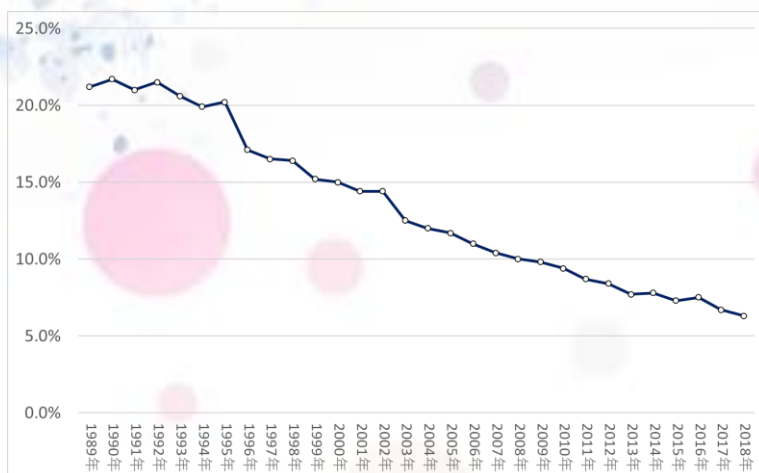
## 地域でつながりをつくる必要性の背景

- ① 未婚化（家族関係の縮小）
- ② 共働き世帯の増加
- ③ 子どもの遊びの変化（室内ゲーム）
- ④ 日本の高齢者の社会的孤立の高さ
- ⑤ 日本の近隣関係の疎遠化
- ⑥ 自治会・町内会の支え手の高齢化
- ⑦ コロナ禍による閉じこもり
- ⑧ コロナ禍による子どもの地域行事の衰退

- ✓ 家族が縮小する社会で、どう地域のなかで居場所や「つながり」をつくれるか？
- ✓ 地縁組織だけに頼ってでは、地域のなかの「つながり」や地域を体験する行事が持続できないのでは？



町内会活動を月1回以上している人の割合 (JGSS-2010/2012)



子ども会の加入率の低下 (神戸市の小・中学生の場合)

地縁組織だけでなく、民間企業や商店街、NPO、ボランティア団体、公的機関と連携して、ゼミの学生がオリジナルの企画を立て、地域に繋がりをつくる活動を展開しました。



ニトリモールや商店街とコラボした子どもへの職業体験企画



枚岡西サマースクールでエコバックづくり企画



瓢箪山サマースクールでゴミで作る万華鏡企画



市内の集い場主催者の横のつながりを作る集い場サミットを開催(テレビの取材も)



ファミリーサポートセンターとコラボしたクリスマスのオリジナルキーホルダーづくり



地域活動の輪をひろげる つながろう! 通いの場